

特定非営利活動法人 グローバル・シップス こうべ
ひきこもりたちの東日本大震災実行委員会

2011年11月3日

報道関係各位

『ライブトーク ふたつの「あの日」が揺らしたもの-大震災が問うひきこもり
問題-at 神戸』を開催します。

東日本大震災と阪神・淡路大震災では、被災地のひきこもり者たちはどう行動したのでしょうか？そして3/11から8ヵ月あまりが過ぎ、冬を迎える被災地の現状は？

このイベントでは、近畿と東北で不登校やひきこもり問題と取り組んできた方々から、被災地でのひきこもり者の様子を報告していただき、その共通点と違いを考えながら、2度の震災が日本の家族や社会に投げかけた問題を、当事者や家族・市民の方々と共に考えます。

主催：NPO 法人グローバル・シップスこうべ、ひきこもりたちの東日本大震災実行委員会

後援：兵庫県（申請中）、公益財団法人兵庫県青少年本部（申請中）、
NPO 法人神戸オレンジの会、ふくろうの会、NPO 法人情報センターISIS（イシス）神戸 他

日時：平成23年（2011年）11月27日(日)13:30～16:30（開場 13:00）

会場：こうべまちづくり会館(神戸市中央区元町通 4-2-14)2F ホール

定員：80名

申し込み：事前申込者を優先します。

専用ホームページ：<http://shinsai.global-ships.net/>

メール：shinsai@global-ships.net

入場料：1,000円（当日支払い）

出演者：

報道：池上 正樹氏（ジャーナリスト）

支援者：布施 龍一氏（NPO 法人 フェアトレード東北 代表）

田辺 克之氏（神戸フリースクール 代表）

上山 和樹氏（フリー）

おーまきちまき氏（ミュージシャン）

司会：加藤 順子氏（フォトジャーナリスト）

形式：

- 1部「それぞれの現場からのレポート」ジャーナリストや支援者の報告
- 2部「サークルごとのクロストーク」グループに分かれてのディスカッション
- 3部「全体でのクロストーク」それぞれの問題の共有

寄付：ホームページ（前日まで）と募金箱（当日）で受付

収益：収入から必要経費を除いた収益は、東北で支援をしている NPO 法人へ全額寄付します。

寄付先：NPO 法人 フェアトレード東北（石巻）ひきこもり・不登校・発達障がい・うつ病・摂食障がいなどの支援

ひきこもり問題：“ひきこもり”は、さまざまな要因により、社会や学校への参加の場がせばまり、就労や就学などの自宅外での生活の場が、半年以上の長期にわたり失われている“状態”を言います。

昨年度、内閣府は全国のひきこもり者が約 70 万人、予備軍を含めると 225 万人と発表しました。高齢化と長期化が問題になっています。

開催のいきさつ：兵庫県内のひきこもり問題に関わる民間支援機関のネットワーク「ほっとねっと兵庫」が 3 月にシンポジウム『ひきこもる人たちのいま、これからの支援』を開催し、それからジャーナリストの池上氏との交流が始まりました。

10 月に東京・銀座でひきこもりたちの東日本大震災実行委員会が「ひきこもりたちの東日本大震災 at 銀座」を開催、その様子を池上氏からお聞きして、阪神・淡路大震災を経験した神戸で開催したいと思いました。今回は、当事者からの発言をより尊重したいと思っています。

主催について：前回の主催「ひきこもりたちの東日本大震災実行委員会」に兵庫県内の NPO 法人「グローバル・シップスこうべ」が加わりました。当法人は、ひきこもり・不登校当事者主体の NPO 法人として、2009 年に県より認証され、当事者の自助グループ活動や、兵庫県内の支援機関とイベントの情報提供などの活動をしています。

ホームページ：<http://www.global-ships.net/>

池上正樹氏プロフィール：(いけがみまさき) ジャーナリスト 1962 年生まれ。新聞、雑誌などで、「心」「家」「街」などの問題をテーマに執筆。1997 年から「ひきこもり」を巡る取材を始める。

著書は、『ドキュメントひきこもり 「長期化」と「高年齢化」の実態 (宝島社新書 316)-』、『「引きこもり」生還記—支援の会活動報告 (小学館文庫)』など。2011 年 6 月には最新刊『東日本大震災、石巻の人たちの 50 日間 ふたたび、ここから』(ポプラ社)を上梓。